

# 近畿日本鉄道 30000系

## 共通組み立て説明書

### 注意

お買い上げのお客へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 鋭角の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベアスメーカーをご使用の方は、マグネットカプラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカプラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

### 組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っこ強ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気を付けて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

＜電話受付先＞ バンダイお客様相談センター  
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**  
受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)  
PHS、IP電話等ご利用の方は04-7146-0371におかけください。

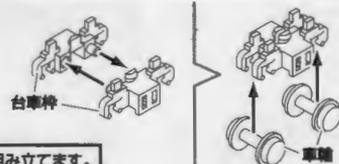
＜商品・修理品送付先＞ バンダイ 栃木修理・配送センター  
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67  
営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

### シャーシの組立て

#### 1 台車の組立

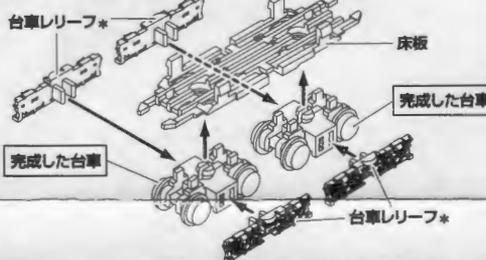
\*台車枠と台車枠を合わせて、車輪を取り付けます。

\*前後2組の台車を、それぞれ組み立てます。



#### 2 シャーシの完成

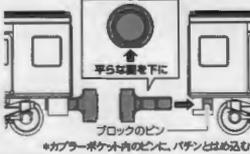
\*出来上がった台車の5箇所のツメを床板に通します。  
\*台車レリーフを取り付けます。



### 台車レリーフの向きに注意。



### カプラーの取付け方



- マグネットカプラー  
\*磁石で連結・固定ができます。磁性(S-N)があるので、磁結する向きに注意してください。
- ドローパー  
\*2両を固定連結します。
- ダミーカプラー  
(先頭車正副などに使用します。連結はできません。)
- 密着連結器(JR標準品)  
●自動連結器(密着型標準品)

## Nゲージ化用パーツの取り付け方法

\*BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

### ①機関車への動力ユニットの取り付け

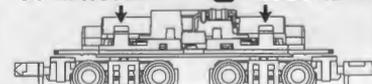
- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット①・機関車用」を使用します。  
通常色(黒)と、グレーがあります。
- \*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- \*スノープロは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)



- \*EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの着脱が充分にできません。直通運転や、短小カーブ、8カーブ上では、運転が不安定な場合がありますのでご注意ください。

### ②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット③・電車・気動車用」もしくは「両動力ユニット④・路面電車用」を使用します。



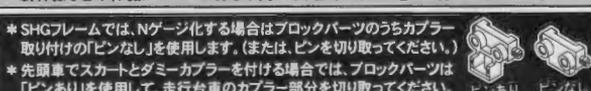
- \*左右4箇所(爪)で、車体と固定します。
- \*ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

### ③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・走行台車②」を使用します。
- \*台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- \*取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
- \*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- \*旧タイプ床板では、台車の回止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- \*台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- \*スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付けの場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。
- \*新幹線など車体側にカーブのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- \*SHGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- \*先頭車でスカートとダミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。



- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご注意ください。
- \*線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通で使用できます。
- \*Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- \*走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- \*動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線路では、牽引できる両数が制限されます。)

### ■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) \*EF640、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
- \*11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラホ片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

### ②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルパネ台車タイプ 通勤電車① コイルパネ台車タイプ DT339タイプ 103系など
- 品番11-106 急行電車①: 空気パネ台車タイプ 急行電車① 空気パネ台車タイプ DT329タイプ 165系、485系など
- 品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ 通勤電車② ポルスタレス台車タイプ DT619タイプ E231系など
- 品番11-104 チビ客車用動力ユニット
- \*「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

### ③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルパネ台車タイプ
  - 品番11-098 急行電車①: 空気パネ台車タイプ
  - 品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ
- このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

### ■パンタグラフの交換

- \*お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
  - KATO: 11-401 PS14: 直直/パンタグラフ グリーンマックス: 80-2: PS13: 直直/パンタグラフ
  - KATO: 11-403 PS22: 直直/下向き変換/パンタグラフ グリーンマックス: 80-3: PT42: 直直/パンタグラフ
  - KATO: 11-404, 11-420 PS16: 直直/パンタグラフ グリーンマックス: 80-5: PT43: 直直/パンタグラフ
  - \*11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。 クロスポイント: PT71C: シングルアーム/パンタグラフ
- このほか、取り付けピンが2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。

- \*各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが難しい(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要な場合もあります。
- \*動力ユニットの装着には、車両によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

**車体の組立て**

**先頭車は、モ30200かモ30250のどちらかを選んで組立てることができます。**

\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けください。

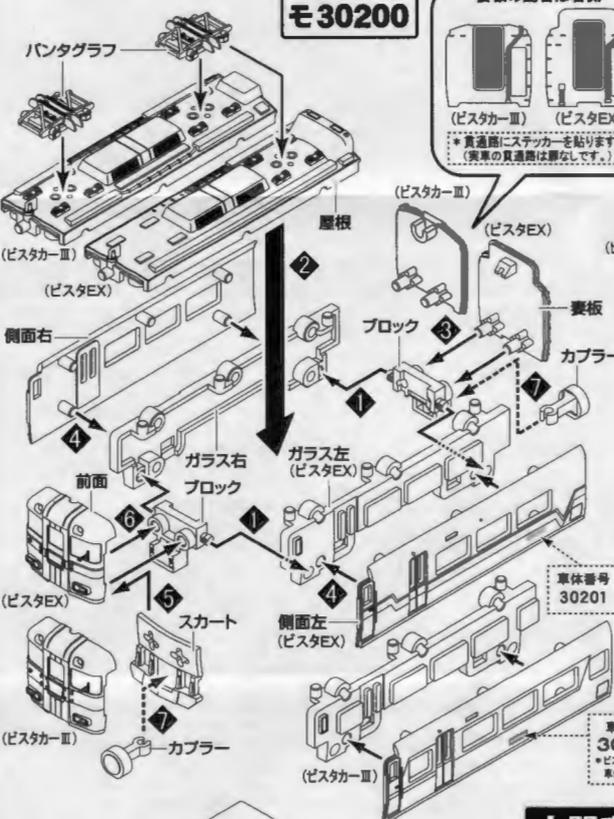
- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。  
\*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。  
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。  
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)



- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。  
(中間車は完成です。)
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。  
(スカート付きの車両は、先にスカート在前面に取り付けます。)
- ⑦カバーを最後にブロックのピンに取り付けます。

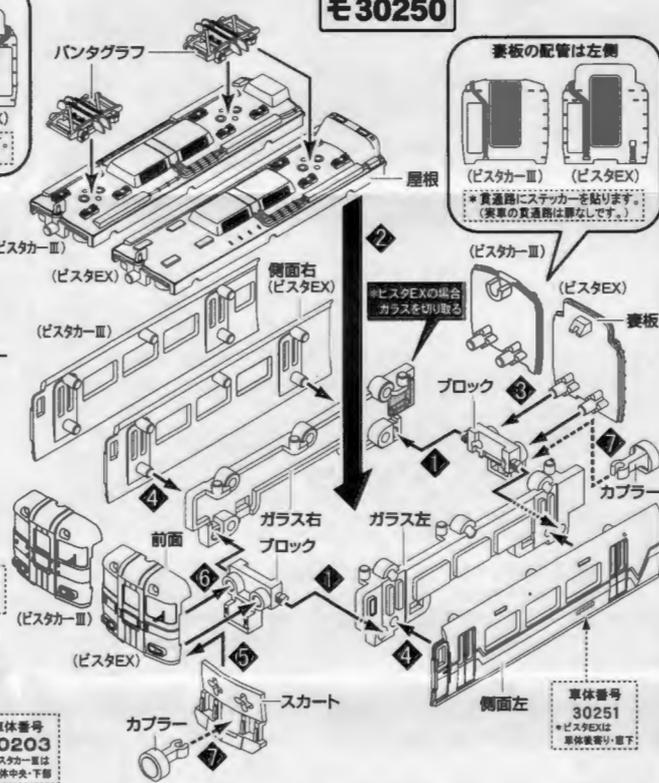
**モ30200**

妻板の配管は右側



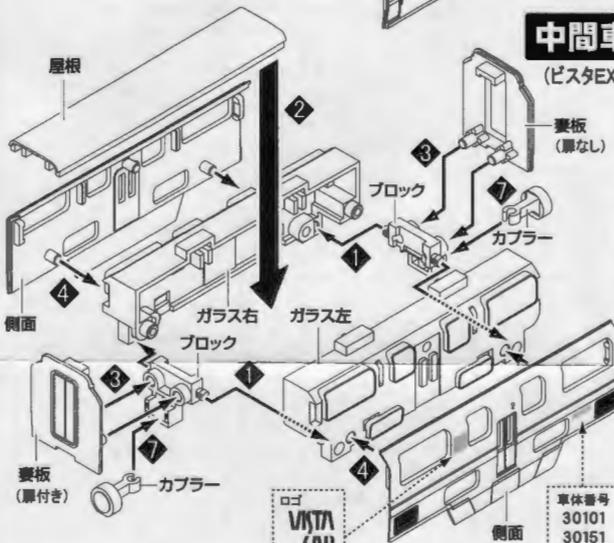
**モ30250**

妻板の配管は左側



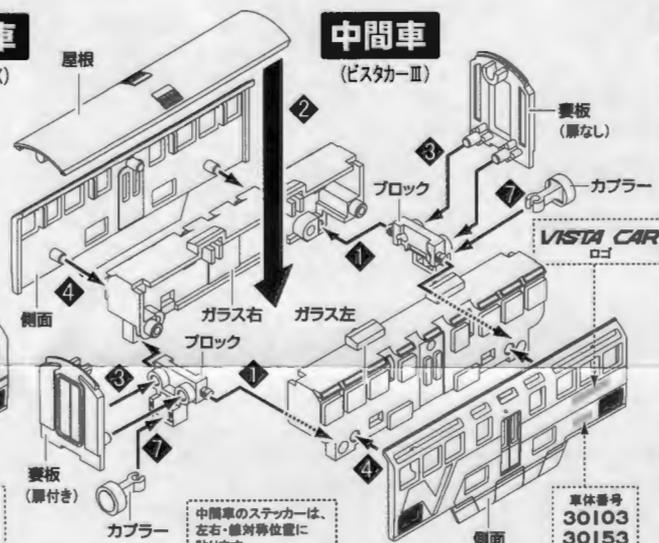
**中間車**

(ピスターEX)



**中間車**

(ピスターIII)



\*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上余剰パーツが含まれている場合がありますので、予めご了承ください。

\*ステッカー指示は、貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。  
(刃物のお取り扱いには、充分ご注意ください。記載のないものはお好みの位置にお貼りください。)

**実車の編成例**

\*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。  
\*記載されている編成の一部車両は再現できない場合があります。あらかじめご了承ください。

大阪線・東海道線用 近畿線用・上本町線用 → 買島線・島野線・神宮線・近畿名古屋線  
名古屋線運用 買島線・宇治山田線 → 近畿名古屋線



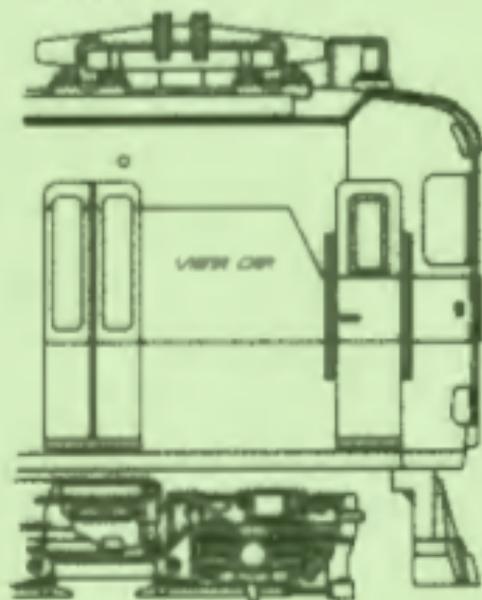
\*ピスターIIIでは、他車種と併用の際にパンタグラフが取り付けられないようになっています。(大阪線・大宮線に併用、名古屋線・島野線に併用。)



## ピスタカーⅢ・ロゴステッカー

- \* 先頭車30200形の右側面にあります。  
(乗務員扉と客扉の間)

モ30200形・右

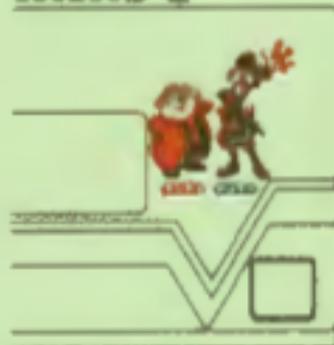


- \* ピスタEX更新時に取り外されています。

志摩スペイン村・キャラクターステッカー（ピスタEX専用）

＊先頭車・側面の後ろ寄りに貼り付けます。

モ30200部・左



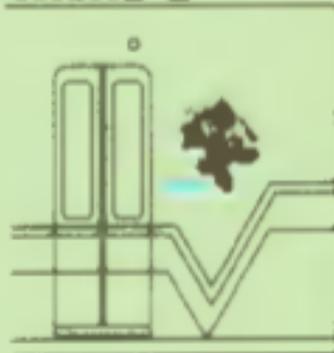
モ30200部・右



予告



モ30250部・左



モ30250部・右

